

PTA活動をふり返って

PTA活動にご尽力頂き、個人表彰をお受けになる方々に、ご自身の活動を振り返って感じることを書いて頂きました。きっと皆さまの活動の参考になると思うので、是非ご覧ください！！

尾閥 淳さん（川島小

そんなことを七十歳くらいの通学路見ま
もり隊のおじさんに言われたのがP.T.A会

四円じゅ一へ余長に就任し、おもむねこの四円が過半、やうと四分の中じゅ一へ余長といつ立場を理解し、これかひといつこったいゆこのか整理ができ始めたのが五月頃でした。「わあ、かんばるや」と黙りてこても、余長じゅの「選出」思つてゐたやうになつていていた頃、先ほどの脚譲をかかへていただけたのでした。

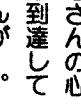
確かに、一生のつむぎをもじりはせど接するにこなでせ、子のものためにみんなで何かに取り組むことができるのって今だけ。自分が七十歳くらくなつて自分の人生を振り返つてどう思つたんだり。一いつ考えた時、ハッと田が覚めました。

「一生のいいでだった一年、せっかくやるんだから楽しんでしまおう。」つづスイッチが入った瞬間でした。

それから、気持ちも樂になら、自分たちも樂しくて意識し、“子供のために”を命言葉に、他の役員さんや先生、地域の方、そして、子供たちにも笑顔で接することができるようにつなぎました。

ねかわやおやじ、ユートペルティンが、この辺を駆け回った
一年間、学校のいいところ、学校でのやさしいところ、
地域のいいところを知り、これまでながら繋がる

とができる、今の自分にとって大きな財産にならぬか。



でも、まだ、
あの見まもり隊
のねじさんの心
境には到達して
いませんが…。

高木 弥生 さん
(緑陽)

「この度、このよきな素晴らしい表彰を頂いた
事について感謝しております。」

PTA会長、中学校では校外生活委員長を務めて参りました。

この三役をさせて頂いて、どの時も一緒にやってきた校長先生を始め諸先生方、企画委員会をやってきた仲間の支えがあったからだ

まだデータの役員になつてゐるところが、なかなか

「大変だしい、私に出来るのかなあ?」と思つてみえると思います。

松井回りでしたが、やがてついに来た

A black and white line drawing of a young girl with short, curly hair, wearing a light-colored dress. She is smiling and holding a small, dark object in her right hand. In the background, there is a simple wooden chair.

子供の成長が一番身近で見れるのが、このママの変遷でおぼえておられる方々

私は、今思えはじめてこの経験をさせて頂いて感謝しております。

の故也、本廻上場の如きは、此等の事に付

安田 久之 さん (稻羽)

子どもの頃、私の父が教員であった事もあ

学校の事と共に追われていた日々を思い出しました。だからと書つわけでもあります
せんが、私がP.T.A会長を引き受けた時は「
少々荷が重いな」と感じたのが正直なところ

たが、その先々で出会った方から貴重なお話を聞くことができたこと、保護者の皆さん・先生方・子供たちと深く関われた事は私にとって大変大きな財産とな

PTA活動に協
力し、支えて頂
いた皆さんに心
から感謝し、お
礼申し上げます。

足立佐和子

私が役員に選ばれたのは、平成二十四年度。

本校では、会長に選出された人は、副会長の一年を経てから会長へとなる一年任期制となっています。会長の年では、

市口連の副会長も兼務させていたたきました。そのため、一十五年度は、一回中会議、会議で家を立てる」とも多々ありました。まだ低学年だった子供たるには寂しい思いをさせていました。

家庭や仕事、自分の時間等、犠牲になるものが多かったですが、回等以上に徳るもの

「あだー」「向日」「帰つてやるー」「」
言つてくる子供たちでしたが、「わの
ママ、pta会長なんだあー」と何だか
自慢げな表情。「こんな表情するんだー」と
新たな一面を垣間見ることができ、子供
の成長を実感することができました。

役員生活の中で、子供の成長や学校での様子を知ることができるのが一番の樂しみでした。また、人脈が広がった、先生方の努力を知った、地域の方々との交流など、数えきれないほどの財産をいたしました。そして、今では人前でしゃべらせて貰った時の緊張感が和らいでいる自分自身の成長を感じています。

いつか役員生活の苦労話を、子供たちが「ママやパパ」になった時に自慢、いえ、え、アドバイスできるって想像するだけでワクワクしてしませんか?

余談ですが…

大役を二年間務めた私のJ賞美として、某ブランド財布を貰つてもらつちゃいました。

「なつたのですが、前回出席でわかれかせ手術後の経過次第といつなんともいえない状況でした。

き、その後は特に大好きなエリールもなく
任期終了を迎えたが、これは仲間や周
囲の方々に支えられたからこそ、最後まで
やり遂げたにこぎあたったのだと思つておる。
現在の私は、pta活動とは品のいい方
で青少年育成にかかる

五島 康尋さん（中央中）

各務原市PTA連合会

PTA役員やってみました!!

気づき、そして感謝

市P連書記（各務小学校 PTA 会長）柴山 隆幸

今まで、私はPTA活動にほとんど参加しない生活を送っていました。なぜかというとPTA活動の参加はほとんど奥さんが参加してくれていたからです。

私が学校に行くのはたまに授業参観に参加する程度で、PTAがどのような活動をしているかも全くといつていいほど分かっていませんでした。

しかし、そんな私に大きな変化がやってきました。それは長男が小学校6年生になりPTAの役員選出で、PTAの会長のくじが当ったことでした。もちろん、一度決まった会長の役を辞退することなどできず、仕事も不規則で、今までPTA活動にほとんど参加してこなかった私は、本当にそんな大役が自分にできるのか不安な気持ちで今年度の4月を迎えることになりました。

入学式からPTA会長の活動が本格的に始まり、4,5,6月はとても忙しく、あまりいろんなことを考える余裕もありませんでしたが、PTA活動に慣れてくると、PTAの大切さが少しずつわかつてきました。

たとえば、小学校には色々な行事があり、子どもたちが毎年楽しみにしているあたりまえのように行われている行事、そんな行事の中にはPTAと学校が協力しなければ成り立たない行事がたくさんあることがわかったのもその中の一つです。他にも、PTAの活動をしていくうちに、いろいろなところで活動をしているPTAは、子どもたちだけでなく、親にとってもなくてはならない組織だと気付かされました。

PTA活動の貴重な経験

市P連会計（縁苑小学校 PTA 会長）竹村 明彦

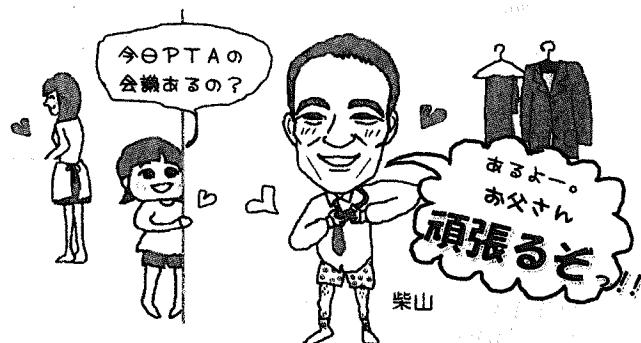
私がPTA会長になる前には、仕事中心の生活でPTAにはほぼ無縁でした。

しかし、実際に活動してみると、PTAが子どもたちにとって無くてはならないもので、保護者、学校、地域の三位一体の協力体制の大切さがよくわかりました。学校の先生方が教育活動に熱心に取り組んで下さっていることも理解で

このようなPTAに参加できることを誇りに思って活動をしています。

また、我が家では私が会社から早く帰ったり、土曜日に家にいたりすると、子どもたちが「今日PTAの会議あるの?」とよく聞いてくれます。どういう思いで聞いてくれているのかわかりませんが、私はそのたびに、子どもたちは親である私のことをしっかり見ていてくれるんだと勝手に信じ、子どもたちに恥じないように、自分のできることを精一杯やるように心がけています。また、その言葉が私の元気の源になっており、子どもたちにとても感謝していますし、PTA会長をやることによって家族の絆も深まっているような気がします。

PTA会長として大変なこともありますですが、先生方や役員さんに助けてもらいながら、色々な活動に参加させてもらい、そこから多くの事を学び、そして経験することによって、今まで分からなかったPTAの大切さを実感することができました。今日の研究大会で勉強させてもらったことや、今まで経験して学んだことを、これから少しでも多くのPTA会員の皆さんに広めていけるよう頑張っていきたいです。



き、自治会、地域の方々や、青少年、社協、体振、ボランティア等の地域団体が子どもたちの成長にとって大切で有難い存在だと感じました。

本日の研究大会では、各校PTAから素晴らしい活動紹介を頂けますが、私もこの紙面をお借りし、PTA活動で貴重な経験が得られることを皆様にお伝えしたく、特に思い出に残った活動等をご紹介したいと思います。

一つめは、8月に全保護者子どもたちで行う「ふれあいクリーン大作戦」という学校の草取り清掃活動です。雑草が多く以前は取りきれなかったこともありましたが、今年はこの行事の前に、地域の環境ボランティアの方が各自治会長

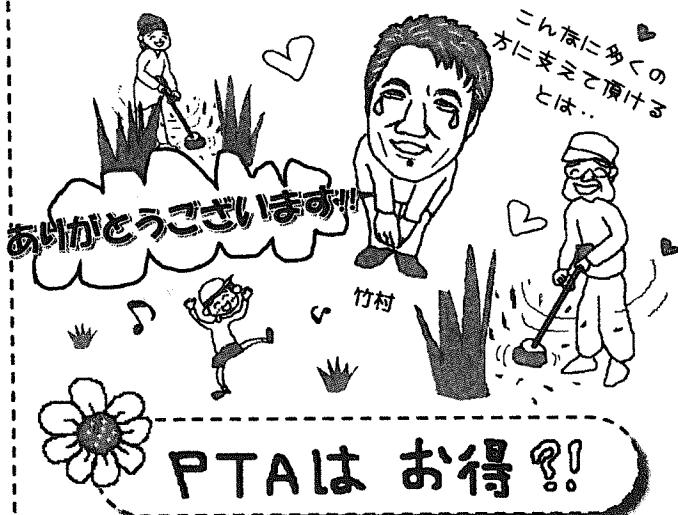
さんに働きかけて下さり、PTA本部役員の方も参加して、校庭や校舎周りを機械で一斉に草刈り頂けました。クリーン作戦当日は、子どもたちと一緒に校庭の小さな草を抜いたり、事前に刈った草をゴミ袋に集めたりと効率的な作業となり、大成功となりました。校内がすっかり綺麗になって、9月の運動会で気持ちのよい会場となりました。他にも、通学路周辺の整備や春の草刈り等でも、地域の方、ボランティアの方々から多大なご協力を頂きました。「子どもたちの遊ぶ姿を思い浮かべると作業も楽しくなる」、「地域として学校を大事にしてサポート体制を示さなければならない」というお言葉を頂き、本当に嬉しい気持ちになりました。地域の方々が学校や子どもたちを支えて下さっていることを実感し、深く感謝した次第です。

二つめは、開校40年記念式典です。当初の図書充実や講演会等の企画に追加として、子どもたちをプレゼンターとして開校以来の歴史をスライド紹介してもらう企画を提案したところ、先生方、PTA役員の皆様からご理解と多くの

ご協力を頂けました。その他の企画案も頂けたので、当時は盛りだくさんの内容となりました。思った以上に子どもたちの反応がよく、笑顔があふれ、思い出に残るイベントとなり、私たち自身も幸せなひと時を過ごせました。皆さんにご協力を頂いて行事が成功できた感謝と達成感を共有することができました。

また、市P連の活動については、執行部会、代議員会ともに前向きで雰囲気がよく、多くの良い刺激を頂くことができました。講演会、研究発表、各種団体行事等にも参加させて頂き、子育て、教育だけでなく自分自身の生き方、新しい知識も得られる有意義な勉強ができました。

仕事にPTA活動がプラスとなつたいそがしい生活になりましたが、不思議なことに、自分の子どもとの会話や接点は、むしろ増えました。子どもの通う学校に親しみを持て、子育てに理解を持つての様になったためだと思います。PTA活動での貴重な経験は、今後の自分にとっても、かけがえのないものとなると思います。関係の皆様に深く感謝申し上げます。



市P連（川島中学校）校外生活委員長 高橋 美香

皆さん、PTAは楽しくて“得”だと思いますか？それとも面倒臭くて“損”だと思いますか？

実は私、現在は市P連の執行部なんて立場ですが、この立場になるまでは、
「PTAなんてよく分からないし、ボランティアを強要されるなんて、ちょっと損かも。」
なんて事を考えていました。
ですがPTAを知るにつれて、その考えが少しずつ変わっていました！！

なぜかと言うと、子どもの交通安全や非行が心配なら“校外生活委員会”に相談できるし、

学級内の問題が気になるなら“学級委員会”による学級懇談会で相談できる。

子育てに不安があったり、もっと良くしたいと考えたりするなら“研修委員会”による講演会などで勉強を。

そして学校全体の事を知りだければ“広報委員会”による広報紙で情報を得ればいいからです。

またその他にもPTA全体の活動として、リサイクルや地域の方とのふれあい体験などをしている学校もあります。

どの活動も大勢の役員で協力するからこそ簡単にできる事で、これを保護者一人の力でやろうと思ったら、学校、警察、自治会、リサイクル業者などにまめに連絡をして、インターネットや本で情報を集めて、行動して…など、なかなか容易にとはいえないのではないでしょうか。
つまりボランティアやPTA会費は確かに負担（損）ですが、存分にPTAを利用すれば、子育てが楽になるばかりか、とても充実したものになり、得られるものが非常に大きい（とってもお得！！）という訳なのです。

私自身もPTAを通して学校や地域の事がよく分かつたお陰で、口数が少なくなった思春期の娘との共通の話題が増え、コミュニケーションに役立っていると感じます。また子育ての協力者が、家族や先生以外にPTAや地域という存在もいてくれるのだと分かり、温かく、心強い気持ちになりました。

“得”を下さった関係者の皆様に、心から感謝します！

今日はPTAの研究大会。PTA活動をよく知り、もっと子育てをお得にするチャンスの日です。
よその学校でやっている活動で参考になるものがあれば、遠慮なく自分の学校のPTA会長に「ウチでもやりたい！」と提案してみてはいかがでしょうか。



研究大会に出席して下さった皆様、そして現役員ならびに新役員を引き受け下さったお父さん、お母さん、本当にありがとうございます！

「PTA役員やってみました！」は、昨年5月の定期大会でお配りした第一弾「表彰者体験談」に続き、第二弾として本年度PTA役員を務めて下さった御三人の会長さん、委員長さんより、それぞれのご感想を寄稿して頂きました。『すべては子どもたちのために…（岐阜県PTA連合会スローガンより）』。子どもたちのために頑張って下さるすべての皆様の御健勝を心よりお祈りいたしております。お読み頂きありがとうございました！

市P連 会長 加藤 琢磨